

200/300シリーズマネージドスイッチのCisco Discovery Protocol(CDP)ローカル情報

目的

Cisco Discovery Protocol(CDP)は、シスコのデバイスがIP接続に関係なく通信できるようにするリンク層のシスコ独自のプロトコルです。主にプロトコルアドレスとデバイス機能の通信に使用されるCDPはType Length Value (TLV ; タイプ長さ値) を含むフレームを送信します。TLVはポートや接続の異なるプロパティを含むフィールドです。CDP Local Informationページには、CDPプロトコルによってアドバタイズされた、ローカルデバイスに関する情報が表示されます。

この記事では、200および300シリーズマネージドスイッチのCDP Local Informationページに表示される情報について説明します。

適用可能なデバイス

- ・ SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

- ・ v1.2.7.76

CDPローカル情報

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、Administration > Discovery - CDP > CDP Local Informationの順に選択します。CDP Local Informationページが開きます。

CDP Local Information

Interface: Port

CDP State: Enabled

Device ID TLV

Device ID Type: MAC Address

Device ID: XXXXXXXXXXXX

System Name TLV

System Name: switchecdbd4

Address TLV

Address 1: 192.168.1.254

Address 2: N/A

Address 3: N/A

Port TLV

Port ID: gi1

Capabilities TLV

Capabilities: Switch, IGMP

Version TLV

Version: 1.2.7.76

Platform TLV

Platform: Cisco SG200-26 (PID:SLM2024T)-VSD

Native VLAN TLV

Native VLAN: 1

Full/Half Duplex TLV

Duplex: Full

Appliance TLV

ステップ 2 : Interface ドロップダウンリストから、情報を表示するポートを選択します。

次に、ポートが CDP パケットでアドバタイズする情報を示します。

- ・ CDP State : 指定したポートの CDP の状態。
- ・ Device ID Type : アドバタイズされるデバイス ID のタイプ。このフィールドには、MAC アドレスまたはシリアル番号が表示されます。
- ・ デバイス ID : デバイス ID。これは、スイッチの MAC アドレスまたはシリアル番号です。
- ・ Address : 指定したポートに割り当てられたネットワーク層アドレス。
- ・ ポート ID : 指定したポートの ID。
- ・ 機能 : デバイスのアドバタイズされた機能。スイッチは、IGMP のスイッチングと使用が可能であることをアドバタイズします。
- ・ バージョン : スwitch の現在のソフトウェアバージョン。
- ・ プラットフォーム : スwitch のプラットフォーム名、番号、および製品 ID (PID)。
- ・ ネイティブ VLAN : ネイティブ VLAN の ID。
- ・ Duplex : ポートが半二重モードまたは全二重モードのいずれであるかを表示します。半二重モードでは、リンクパートナーの通信は一方向に制限されます。つまり、一度に 1 つのリンクパートナーだけがデータを送信できます。全二重モードでは、リンクパートナーがデータを同時に受信および送信できます。
- ・ アプライアンス ID - 指定したポートに接続されているデバイスのタイプ。シスコ以外のほとんどのデバイスでは、アプライアンス ID は 1 です。
- ・ アプライアンス VLAN ID : 接続されているデバイスの VLAN ID。
- ・ Extended Trust : ポート上の拡張された信頼の状態。パケットの送信元のホストまたはサーバが信頼できる場合、そのホストはパケットにプライオリティ値のマークを付けることができます。パケットの送信元のホストまたはサーバが信頼されていない場合は、CoS for Untrusted Ports フィールドが使用されます。

- ・ CoS/802.1p for Untrusted Ports : ポートで拡張信頼が無効になっている場合に、ポート上のすべてのパケットに与えられるCoSプライオリティ値。
- ・ 要求ID : 最後に受信した電力要求IDは、電力要求TLVで最後に受信した要求IDフィールドをエコーします。ポートが最後にアクティブになってから、要求された電力TLVが受信されなかった場合は0になります。
- ・ Power Management ID : このフィールドは、Available-PowerまたはManagement Powerフィールドが変更されるか、最後に受信したセットとは異なるRequest-IDフィールドで電源要求TLVが受信されるか、ポートがダウンするたびに、1ずつ増分されます。
- ・ 使用可能電力 : 指定したポートで消費される電力 (ワット単位)。
- ・ 管理電力レベル : 電力消費量TLVに関する、受電デバイスに対するサプライヤの要求。200/300スイッチは電源プロバイダーであるため、常にNo Preferenceが表示されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。